公

市街地の緑被面積が9年間\*\*で30ha増えました。 雨庭が8年間\*\*で16か所整備されました。

> ※1 平成27年度と令和6年度の比較 ※2 平成29年度~令和6年度



# 取組 方針

市民や京都を訪れる人々が京都ならではの四季や景観を楽しめるよう、市民や 事業者と協力して、都市の緑化や花とみどりの空間づくりを進め、京都ならでは のみどりの文化を守り育てます。

## 魅力ある公園づくり

#### ■ 公園の維持管理と整備

京都市では、965か所(令和7年3月末)の公園を、日々のパトロールや点検により、皆様が安心・安全に御利用いただけるように管理しています。また、老朽化した遊具等の更新、インクルーシブ遊具の設置、トイレのリニューアル(建替え)や便器の洋式化、出入口のバリアフリー化を進めるなど、魅力ある公園づくりに取り組んでいます。







誰もが利用できるインクルーシブ遊具

トイレのリニューアル

災害時に利用できる「かまどベンチ」

#### ■特色ある公園

訪れた方々により楽しんでいただけるよう、民間活力の更なる導入を図りながら、それぞれの公園の特色をいかした整備を進めています。







大宮交通公園:模擬道路

梅小路公園:京都水族館

梅小路公園:芝生広場

#### • 大宮交通公園

市内唯一の交通公園としての機能や豊かな緑をいかしつつ、Park-PFI 制度により民間活力を活用し、 自転車を通じて学び、楽しみ、交流することができる公園として市民の憩いの場所となっています。

#### • 梅小路公園

令和7年に開園30周年を迎えた総合公園。水族館や鉄道博物館をはじめとした賑わい施設や飲食店などがあり、また、令和6年には池泉回遊式庭園である「朱雀の庭」と、復元型ビオトープである「いのちの森」が自然共生サイトに認定されるなど、都市における自然豊かなオープンスペースとして市民に親しまれています。

17

### Park-UP事業〜地域主体の公園の管理運営〜

地域に身近な住区基幹公園(街区公園、近隣公園、地区公園)を対象として、地域が主体的に公 園の管理運営を進め、また、地域からの要望に応じて、民間企業等の多様なサポート団体の支 援を受けることができる「Park-UP事業」を令和6年2月に創設し、7公園18団体(令和7年7月末) で取り組んでいます。



#### • 北鍵屋公園

号となるPark-UP施設として、なの竹間ガーデン」をオープン。旧公園管理事務所を活用し、 「地域交流拠点」と「セブンイレー公園に訪れるあらゆる世代の一公園の維持管理や美化活動、 ブン伏見北鍵屋店」がオープン 利用者が、一緒に植物の世話 月1回のマルシェ(オープン し、多くの人が訪れる場所とをすることで人々のつながりパーク)が実施されています。 なっています。



北鍵屋公園:地域交流施設

#### • 竹間公園

令和6年11月には、本市の第1 地域主体で育てる菜園「みん 複数の企業と連携しつつ、 を広げる取組が進められてい ます。



竹間公園:みんなの竹間ガーデン

## • 船岡山公園



船岡山公園:オープンパーク

# 宝が池公園の魅力向上

宝が池公園においては、約30の団体・有識者が参 画する「宝が池みらい共創会議」が設立され、関 係者の様々な意見を集約のうえ、活動方針となる 「宝が池みらい共創指針」が令和6年3月に取りま とめられました。

共創会議を中心に、本指針に基づく魅力向上に 資する取組(宝が池びとトーク等)が進められて います。



宝が池公園:宝が池びとトーク

### 雨庭の整備

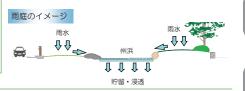
京都の庭園文化をいかした「南庭」を整備し、訪 れる人々に楽しんでもらえる緑を創出しており、京 都市では、16か所(令和7年3月末)を整備してい ます。

### 雨庭とは

雨水を一時的に貯留し、時間をかけて浸透 させるための植栽空間のことで、雨水の流 出抑制やヒートアイランドの緩和などの効果 が期待されることから、近年広まりつつある 「グリーンインフラ※」の一つとして注目され ています。

※グリーンインフラ:社会資本整備や土地利用等のハード・ ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用 し、持続可能で魅力あるまちづくりを進めようという考え方





### 街路樹等の育成管理

京都市では、イチョウやサクラといった約4万本(令和7年3月末)の高木と、ツツジやアベリアと いった約80万本(令和7年3月末)の低木の街路樹について、月1回の巡視点検などにより安全 確保に努めながら育成管理しています。



白川沿い



桂坂西周回道路



## 街路樹の剪定

美しい紅葉を楽しんでいただけるよう、令和2年 度から、秋口までに枝葉を透かしながら、樹形を 小さく整える剪定方法を本格導入しています。



19



土地区画整理事業による整備面積は、令和6年度までに市街化区域の26%、3,895haに達しています。 伏見西部地区における事業所、従業者が15年間\*で418事業所、8738人増えました。

※ 平成18年と令和3年の比較



# 取組 方針

国道1号や名神高速道路、第二京阪道路等により、阪神方面や滋賀・名古屋方 面などへのアクセスに優れた伏見西部地区において、市街地整備の代表的手 法である土地区画整理事業により、都市機能集積地域として基盤整備を進め ます。



施行箇所図

# 伏見西部第五地区土地区画整理事業

名神高速道路、第二京阪道路、京滋バイパス等の広域交通へのアクセスが良好(4km圏内)な エリアであり、この特性を活かし、基盤整備に、オフィスや工場等の用途に限って容積緩和す るなどの企業誘致施策を組み合わせ、市内で希少な産業用地の創出による活力あるまちづ くりを展開しています。

都市計画道路を骨格とした良好な市街地の形成や、広域避難所である横大路運動公園への アクセス強化にも取り組んでいます。

21

### 伏見西部第三地区土地区画整理事業

地区中央には国道1号、地区東側には油小路通が 縦貫し、地区の約99%が工業地域に指定されてい ます。

こうした地域特性を踏まえ、流通業務施設などの立 地が進んでおり、健全な市街地の形成や交通渋滞 の緩和を目的として、基盤整備を進めています。



油小路通と第二京阪道路

## 伏見西部第四地区土地区画整理事業

府道京都守口線を境に、東側は工業系の用途地域に指定されており、地区内にある工場などを移転させるため、横大路淀線をはじめとした基盤整備を優先的に進めてきました。西側には、旧街道筋を中心に、古くからの町並みが残されています。今後は、地区内に設置される「小中一貫教育校」の開校に向けて、安心安全な通学路の確保、子育て世代が住みやすい宅地の供給につながる基盤整備を進め、教育環境の充実した住みやすい場所の創出を目指します。



横大路淀線



各地区の准捗状況

地区名	伏見西部第三地区	伏見西部第四地区	伏見西部第五地区
施行面積	104.5ha	116.7ha	64.5ha
進捗率	91%	58%	50%

(令和7年3月末)

# 上鳥羽南部地区土地区画整理事業

国道1号が南北に通り、名神高速道路・京都南ICに 近いなど、交通利便性が高い地域です。

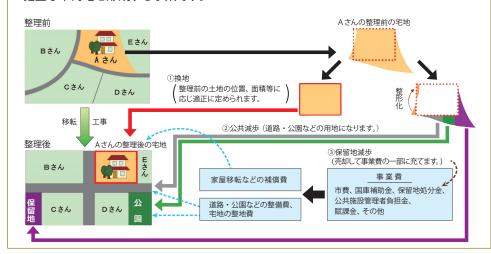
無秩序な市街化を防止し、健全な市街地を形成するため、事業を進め、令和4年度に完了しました。



大宮诵

### 十地区画整理事業とは

整備が必要とされている区域において、土地所有者から土地の面積や位置などに応じて、少しずつ土地を提供してもらい、その土地を用いて、道路や公園等の基盤整備を実施するとともに、残りの土地の形の整理などを行います。これにより、利用価値を高め、健全な市街地を形成する事業です。



## 産業用地の創出とは

同じ土地利用の意向をお持ちの 方の土地をまとめることで、大規模 な土地や操業環境の確保などの 企業ニーズに合致した産業用地 を創出する取組です。

これにより、企業立地の可能性を 高めるだけでなく、営農環境の 保全につながります。



京都伏見・横大路 産業用地情報サイト

